

森下 優香

私は、小学校三年生の時から、水泳を習っている。6年生になってからは「選手コース」に入り、毎週4回の練習に参加していた。練習はとても苦しいけど、自己ベストを更新できたときは、とても楽しい。

小学校を卒業し、中学校に入学する時、部活動に入るかどうか悩んだ。私が通う中学校には水泳部はない。兄はソフトテニス部で活動していたので、ソフトテニスをやってみたいという気持ちはあった。両親にも相談をした。両親は、水泳とソフトテニス、両方に挑戦してもいいし、片方だけに取り組んでもいい、とにかく私の気持ちを大事にすると伝えてくれ、背中を押してくれた。

ソフトテニスも楽しそうだし、水泳もやめたくなかった。私は両方に挑戦することに決めた。平日は放課後の部活動でソフトテニスをし、水泳は土曜日と日曜日の二時間ずつの練習をしている。ソフトテニスも初めての挑戦だったけれど、うまくボールを打てたときは嬉しい気持ちになる。

夏休みにはソフトテニスの大会が2回ある。先生のアドバイスをよく聞いて、ラケットの面をまっすぐにしてボールをたくさん打って上手になりたい。

8月には水泳の大会もある。だから、練習がきつくなってきた。インターバルの時間も短くなったし、先生からのフォームのアドバイスも細かくなってきた。でも、それでタイムが更新できるなら、やるしかない。

ソフトテニスと水泳と、どちらかを選ぶのではなく、両方に挑戦してよかったと思える夏休みにしたい。